三菱統合ビルセキュリティシステム “MELSAFETY−S5”

星野一郎*

要　旨

三菱電機では，小規模ビル・テナントオフィス向けに統合ビルセキュリティシステム“MELSAFETY−S5”を開発し，2003年4月から発売した。

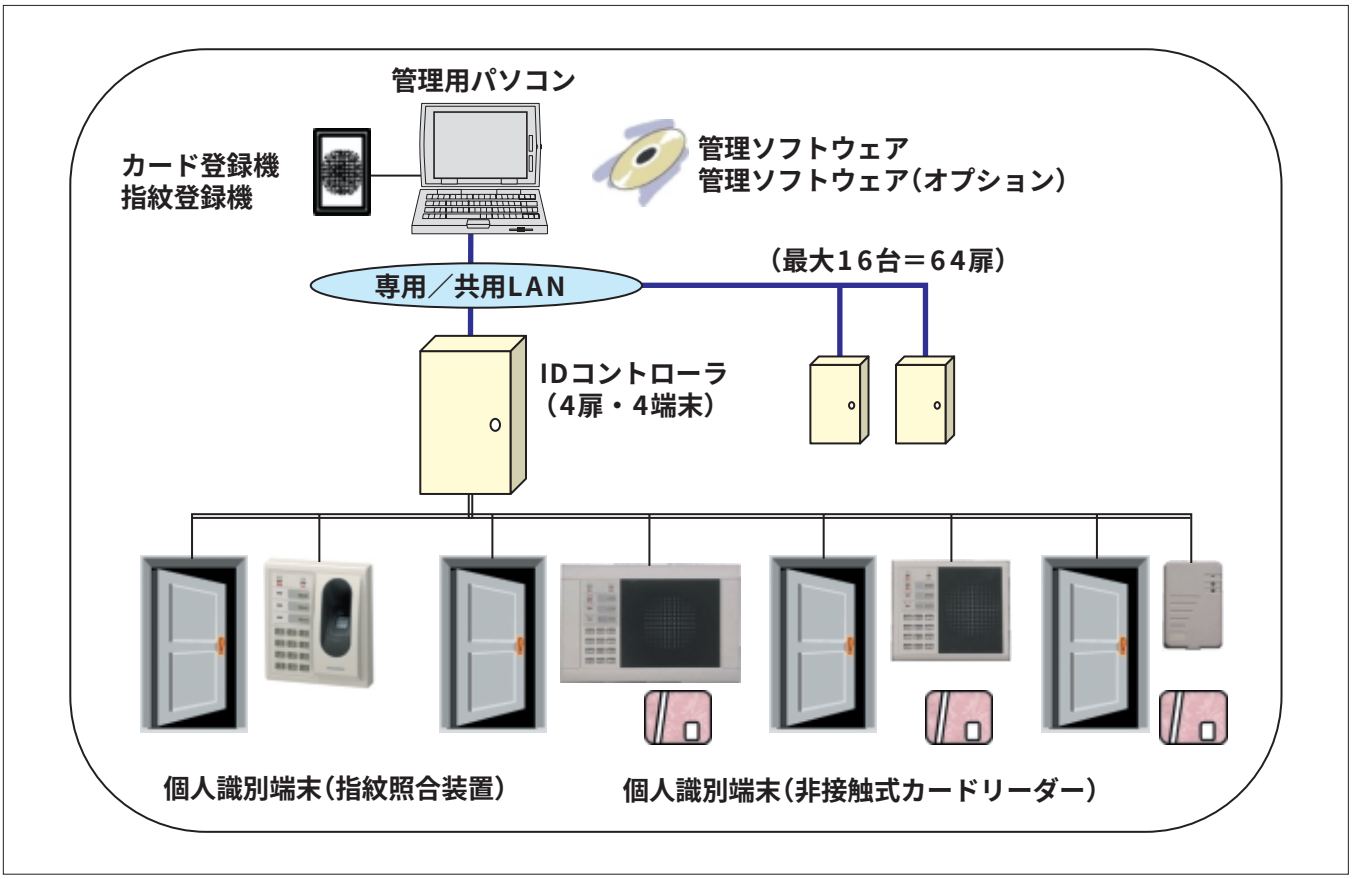
このシステムは，ビルの通用口／専用部出入口にカードリーダーや指紋照合装置などの個人識別端末を設置し，利用者が保有するカードや指紋を認証することにより扉への入退室を制御するとともに，管理パソコンで認証データの登録や通行履歴の管理を行うものである。

この製品の特長は，セキュリティシステムをより導入しやすくするために以下を実現したことにある。

- 構成機器の小型化
- 基本構成の最小化によるコストダウン
- 使いやすいユーザーインタフェース
- 客先ネットワーク活用による工事コスト削減

また，製品の顔とも言うべき個人識別端末には改ざんされにくく利便性に優れる非接触式カードリーダー，当社バイオメトリクス技術の象徴である指紋照合装置を採用した。非接触式カードリーダーはISO15693準拠近傍カード，電子マネー等にも利用されているFeliCa(注)カードに対応する。

(注) FeliCaは，ソニー㈱の登録商標である。



MELSAFETY−S5のシステム構成

ローカル装置であるIDコントローラ・個人識別端末とこれを統括する管理用パソコンをLAN(Ethernet)接続することによりシステムを構成する。ローカル装置では入退室制御(個人の認証と電気錠の制御)を行い，管理用パソコンでは認証データの登録や通行履歴の集中管理を行う。

*稲沢製作所